

漢方薬服用者における低カリウム血症発症に関する後方視的調査研究

1. 研究の対象

2022年1月から2024年12月に、高知大学医学部附属病院に入院もしくは外来を受診され、甘草を含有する漢方薬を処方された患者様。

2. 研究目的・方法

漢方薬は、複数の生薬（植物・動物・鉱物などの天然物由来の薬物）を組み合わせた薬剤です。甘草は、多くの漢方薬に含まれている生薬で、抗炎症作用や鎮痛作用の他、矯味作用（味を矯正して服用しやすくする作用）などを発揮します。一方で甘草の代表的な副作用として低カリウム血症があり、重篤化するとうっ血性心不全や横紋筋融解症（筋肉の壊死）のような生命を脅かすような症状が出るので、注意が必要です。

そこで本研究では、漢方薬服用者において低カリウム血症が発症することを未然に防ぐための対策を考えるために、当該副作用が生じやすい患者様の調査を行います。

研究期間：倫理委員会承認日から2030年5月6日

利用又は提供を開始する予定日：2025年6月22日

3. 研究に用いる情報の種類

以下の項目について電子カルテから得られる情報を調査します。

性別、年齢、身長、体重、BMI (Body Mass Index)、漢方薬の種類・服用期間・服用量、既往歴、生理学的検査値、併用薬。

4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

高知大学医学部附属病院 薬剤部 常風 興平

名古屋市立大学 薬学部 石田 智滉

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

TEL：088-880-2548

Mail：jm-Keita_Akagaki@kochi-u.ac.jp

担当者の所属・氏名：高知大学医学部附属病院 薬剤部

赤垣 恵太（あかがき けいた）

研究責任者：常風 興平（じょうぶ こうへい）